食中毒予防キャンペーンを実施しました

10 月 26 日東大阪市役所本庁舎 1 階フロアーにて食中毒予防キャンペーンを実施しました。

当日は台風 30 号が熱帯低気圧になったものの前線が刺激されて災害級の雨のところもあり、東大阪市においても大雨が降る中、食品衛生関係や各団体の皆様も含めた会員及び市の職員等が４６名も参加して頂き開催することができました。

キャンペーンは大阪食品衛生協会東大阪市中支部支部長・保健所長及び本協力会の佐堀会長の挨拶で始まりました。

その後、会長の挨拶にもありましたように、食中毒は梅雨時の 6 月が最も多い時期ですがこれから冬場にかけての時期はノロウイルスなどによる食中毒にも注意が必要となります。

食中毒は、場合によっては重症化し、生命に関わることもあるため、決して軽視することはできません。日頃から手洗いの徹底や食品の適切な管理など、基本的な衛生対策を心掛けることが重要であります。

これらのことを踏まえて参加者が市民等に対して啓発グッズを配布し、食中毒予防を呼びかけました。

大雨にもかかわらず各団体の参加者や保健所の関係職員皆様のおかげで用意した１９０セットのグッズをすべて配布することが出来ました。

関係者の皆様のご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。



